

今週末から10連休が始まりますね。

翌週の5月1日は今年に限り「天皇の即位の日」となり祝日です。祝日法第三条第三項によって祝日と祝日に挟まれた平日は休日になることから、10連休になるという仕組みだそうです。

また、今年に限り10月22日が「即位礼正殿の儀」として祝日となります。

早めにカレンダー付きの手帳を調達された方は一度確認してみたいかがでしょうか？

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第377号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・「降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する技術資料」の意見募集について

■機構の動き

・今週はありません

■Tea Break

・今年から仲間入り（今年から仲間入りさんからの投稿です）

■研究成果のおさらい

・雨水管理支援ツールに関する共同研究

■ピックアップ！機構情報

・中期事業計画からの取り組み

（既存ストックを活用した段階的・高度処理の推進）

（下水道ストックマネジメント計画策定支援業務）

■はしわたし

・今週はありません

■国からの情報

・4/19付下水道ホットインフォメーション

●「降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する技術資料」の意見募集について

下水道機構では、リアルタイムの下水道の水位把握機能に更に水位予測機能を装備する

ことにより、浸水リスクを軽減するための防災・減災に役立つことを目指し、「降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する技術資料」を発売致します。つきましては、下記の通り、「降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する技術資料」に関して、平成31年4月26日（金）まで広くご意見を募集します。

※詳細はこちら→ <https://www.jiwet.or.jp/pubcom2019-04-22>

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●平成31年度の審査証明受付期間について

下水道機構が行う建設技術審査証明事業（下水道事業）では、民間企業において研究開発された下水道に係わる技術を対象に審査を行い、その性能、特長等を客観的に証明しています。証明書が交付されたそれぞれの技術は、「報告書」や「技術概要書」等が作成され、全国の地方公共団体等に配布し、公共事業で技術導入の際の判断資料として広く活用されております。

審査証明事業の受付期間：平成31年4月1日（月）～4月26日（金）

なお、審査証明を依頼するにあたって、必要書類ならびに使用実績や性能確認試験についての内容等については、当機構Webをご覧ください。当機構の技術評価部までご相談ください。

◎ 問合わせ先

公益財団法人 日本下水道新技術機構 技術評価部

TEL:03-5228-6599 e-mail:shinsashoumei@jiwet.or.jp

○第381回技術サロンを開催します！

日 時：令和元年5月9日（木） 16:00～17:00

場 所：機構8階 中会議室

講演者：（公財）日本下水道新技術機構 下水道新技術研究所長 加藤 裕之

テーマ：イノベーションサロンK

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon381>

。○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○。

●今年から仲間入り（今年から仲間入りさんからの投稿です）

私の周りには花粉症の人が多く、妻も重度の花粉症です。

出向元の会社や機構内でも、周りに花粉症の人が沢山いて、みんなからは羨ましがられていました。

・・・が、何の前触れもなく、今年、突然、仲間入りしました。

最初は、「年度末の疲れで風邪気味なのかな」程度に思っていたのですが、

目は痒く、鼻水も止まらず、仲間入りを確信しました。

長い付き合いになると思いますが、諸先輩方にアドバイスを頂き、シーズンを上手く乗り切っていきたいと思っております。

。○。

研究成果のおさらい (機構の研究成果(要約版)をご紹介します)

。○。

・雨水管理支援ツールに関する共同研究

本研究ではリアルタイム降雨情報システムをベースに、システムを導入している自治体および、解析モデルによるシミュレーション技術の知見を有しているコンサルによる共同研究を立ち上げ、システムの全国的な水平展開を目標に、精度向上や機能拡充・追加可能なシステム、継続的に使用するために必要なフォローアップの内容等について検討を行いました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-22-ab1>

。○。

ピックアップ! 機構情報(下水道機構情報 No. 28 の中から記事をご紹介します)

。○。

・中期事業計画からの取り組み

(既存ストックを活用した段階的・高度処理の推進)

本機構では、水域の早期改善に向けて、既存施設の一部改造や運転管理の工夫により段階的に高度処理化を図る「段階的・高度処理」に関する国土交通省への技術支援や地方公共団体における計画策定支援を行っています。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-22-quarterly1>

(下水道ストックマネジメント計画策定支援業務)

本機構では、国土交通省より示されたストックマネジメント実践5箇条に基づき、はじめて下水道ストックマネジメント計画を策定する市町村を対象とした、勉強会形式のストックマネジメント計画策定支援を行っています。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-22-quarterly2>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7 はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 15 号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter15>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。○。

＼(^-^)/ 皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで → jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。〇〇。

国からの情報

。〇〇。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション（2019.4.19の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

東京は日中の気温が20度を超え、桜も見頃を過ぎて新緑の季節が近づいてきました。
3月まで住んでいた浜松市では、風が強く乾燥しており、カラッとしていて過ごしやすい
時期なのですが、東京では、風もあまり無く、日中は少し蒸し暑く感じます。

浜松市に在籍していた2年前と比べ、本省下水道部のメンバーはほとんど入れ替わり、
各ラインの仕事も大きく変化したので、省内の最新の動向に追いつくのが一苦勞です。
2年前と比べ、強靱化・広域化・共同化、ICT・AIなど下水道に求められるニーズも
めまぐるしく動いており、国としても、こうした動きに柔軟に対応して政策を
打ち出していければと思います。

4月は前年度の仕事の成果が花開く時期でもあります。下記のニュースにもあるように、
福岡県の下水汚泥燃料化施設の稼働などの素晴らしい成果については、産学官問わず、
色々な媒体を通じて、積極的にPRしていただければと思います。
関係者の皆様の情報発信の積み重ねで、下水道事業の活力を見せていきましょう。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ NPO21 世紀水倶楽部研究集会 「プラネタリー・バウンダリーと下水道」
(NPO21 世紀水倶楽部)

○ アセットマネジメント講演会 in 仙台（土木学会東北支部）、
社会インフラの官民連携にアセットマネジメントからアプローチするワークショップ
—上下水道を例として—（(一社)日本アセットマネジメント協会（JAAM））

○ NPO21 世紀水倶楽部研究集会 「プラネタリー・バウンダリーと下水道」
(NPO21 世紀水倶楽部)

●開催主旨

昨年は随分と暑い夏を経験しましたが、地球温暖化の現実を垣間見たような気がします。
地球環境学者が警鐘している「地球の限界（プラネタリー・バウンダリー）」に耳を傾
ける必要がありそうです。温室効果ガスの増大、生物多様性の減少、そして窒素・リン
の環境拡散が、すでに地球システムの限界を超えつつあるという指摘です。本研究集会
では、水倶楽部ホームページ会員論文図書館の欄に昨年度掲載された佐藤和明会員の
「私の下水道論」をベースにして、下水道界の新進気鋭の研究者の皆様とプラネタリー・
バウンダリーの問題に寄与できる下水道の姿について、自由に意見交換をおこないます。

●日時 2019年5月28日（火）14:00～（受付13:30から）

●場所 測量地質健康保険会館会議室（豊島区西池袋3丁目30-5）

●プログラム 14:00～17:00

14 : 10-14 : 40 基調報告「下水道は地球環境に貢献できるか—“私の下水道論”より」

21 世紀水倶楽部 会員 佐藤 和明

14 : 40-15 : 00 関連発表「亜酸化窒素から考える窒素処理」

日本大学 理工学部 土木工学科 教授 齋藤 利晃

15 : 00-15 : 20 関連発表「都市周縁の生活排水対策」

東京大学 新領域創成科学研究科 准教授 佐藤 弘泰

15 : 20-15 : 40 関連発表「下水処理における N2O 排出量削減に関する研究」

国土技術政策総合研究所 下水処理研究室長 田嶋 淳

16 : 00-17 : 00 総合討論

●参加者及び参加費

会員、公共団体、学校関係者、学生、生徒：無料

民間企業等：2,000 円/人

●交流会 17 : 10~18 : 40

希望者により、北海道シントク町塚田農場池袋メトロポリタン口店（豊島区 西池袋

1-10-1 ISOビル6F）にて 参加費：3,000 円/人

●申込み

定員 50 名 定員に達し次第締め切ります。21 世紀水倶楽部HPの申込みフォームよ

りお申込みください。申込期限は 5/15（水）

●問合せ E-mail sympo-info@21water.jp または TEL. 03-5395-0533

○ アセットマネジメント講演会 in 仙台（土木学会東北支部）、

社会インフラの官民連携にアセットマネジメントからアプローチするワークショップ—上下水道を例として—（（一社）日本アセットマネジメント協会（JAAM））

5月14日（火）土木学会東北支部の主催で「アセットマネジメント講演会 in 仙台」が開催されます。「震災復興から次のステージへ」と題して、地域を支えるメンテナンス技術により、公共インフラに新たな価値を生み出し、ビジネス機会の創出、地域経済の好循環へ繋げる方策について考えるイベントです。

同じ日の午前、上記講演会のサイドイベントとして、次の通り（一社）日本アセットマネジメント協会（JAAM）主催のイベント「社会インフラの官民連携にアセットマネジメント

からアプローチするワークショップ—上下水道を例として—」が開催されます。

開催要領は次の通り。

● アセットマネジメント講演会 in 仙台

—震災復興から次のステージへ—

開催日時：

2019 年 5 月 14 日（火） 13 時 00 分～17 時 00 分

会場：

仙台国際センター展示棟（展示室 3）

（〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地）

※ 地下鉄東西線「国際センター」駅下車、徒歩 1 分

※ <http://www.aobayama.jp/>

定員：300 名・先着順

参加費（配布資料代込み）：

土木学会員・JAAM 会員：1 人 1,000 円（税込み）

非会員：1 人 2,000 円（税込み）

講演会の詳細と参加申込みは次のウェブサイト参照。

<http://www.jsce.or.jp/branch/tohoku/info/webentry/2019/20190514asset.html#toentryform>

● 社会インフラの官民連携にアセットマネジメントからアプローチするワークショップ
-上下水道を例として-

開催日時：

2019年5月14日（火）10時00分～12時00分

会場：

仙台国際センター展示棟 会議室 4-B <<http://www.aobayama.jp/>>

参加費：無料

日本アセットマネジメント協会の正会員、準会員のほか、地方公共団体や国の機関の方であれば、

会員でなくてもお申し込みいただけます。

ワークショップの詳細と参加申し込みは、次のウェブサイト参照。

https://www.ja-am.or.jp/seminar_lecture/pdf/2019workshop_sendai.pdf

【参考情報】

◆広島カープ、今年こそ日本一へ 必勝祈願「V9 マンホール」が新たに登場 <4/9 Jタウンネット>

https://news.biglobe.ne.jp/trend/0409/jtn_190409_7626376191.html

◆下水汚泥燃料化事業で式典 福岡県御笠川浄化センター <4/18 Net IB News>

<https://www.data-max.co.jp/article/29027>

◆区内災害時トイレ状況は？ <4/18 タウンニュース>

<https://www.townnews.co.jp/0108/2019/04/18/478037.html>

◆大館市のし尿処理施設/DBO方式を導入/20年度にアドバイザー <4/18 建設通信新聞>

<https://www.kensetsunews.com/archives/311472>

◆尼崎城マンホール設置 阪神尼崎駅南側など3カ所に <4/18 神戸新聞>

<https://www.kobe-np.co.jp/news/hanshin/201904/0012251191.shtml>

◆持続可能な水インフラと官民連携（5）日本総合研究所、石田直美部長に聞く（上）

効率化の鍵は民による更新投資のマネジメント <Web ジャーナル Mizu Design>

<https://mizudesignjournal.com/infra/1644.html>

◆持続可能な水インフラと官民連携（6）日本総合研究所、石田直美部長に聞く（下）

インフラと都市計画との連携を密に <Web ジャーナル Mizu Design>

<https://mizudesignjournal.com/infra/1672.html>

◆持続可能な水インフラと官民連携（7）再考・上下水道事業の再公営化

フランスの現状レポートより抜粋 <Web ジャーナル Mizu Design>

<https://mizudesignjournal.com/infra/1679.html>

◆水から考える持続可能な会社づくり社会づくり⑥ CDP①：企業の「水」情報を開示し、ランキング

<Web ジャーナル Mizu Design>

<https://mizudesignjournal.com/management/1651.html>

◆朽ちる日本の水道インフラ、立て直しには広域化が急務 | 新・公民連携最前線 | PPP まちづくり <4/15 日経BP>

<https://project.nikkeibp.co.jp/atcl/ppp/PPP/434148/040200042/>

◆大阪市水道局と日立、水需要予測分野でビッグデータ活用の調査研究を開始 - <4/16 ZDNet Japan>

<https://japan.zdnet.com/article/35135801/>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>
○はしわたしのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>
○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>